

美術鑑賞や演奏披露

釧路あすなろクラブ 芸術館で例会

同館主幹 寺嶋氏も講話

中小企業経営者らの異業種交流組織、経済研修団体釧路あすなろクラブ(齊藤政行会長)はこのほど、道立釧路芸術館で4月例会を開き、芸術についての造詣を深めた。

同クラブは毎年、年間テーマを定め、それにのっとった会員による楽器演奏も行われた芸術発表(釧路あすなろクラブ提供)



例会活動を展開。今年は「創る・つなぐ・釧路の未来」として、地域づくりや産業づくり、文化づくり、人づくりなどを研修している。4月例会は第一部会(吉川克義部会長)が担当。「『楽しむ力』への注目」と題し、同館所蔵の美術品鑑賞などを通じ地域の芸術文化づくりについて学んだ。

例会では、現在開会中の「釧路芸術館コレクション・ギャラリー」を見学。学芸員から説明を受けながら地元ゆかりの絵画や作品などに触れた。続いて、イベントホールへ移動し、同館の寺嶋弘道学芸主幹の講話に耳を傾けたほか、会員による芸術発表が行われた。各会員は芸術家さながらの衣装に身を包み、ピアノやギターの前を披露すると、会場は盛大な拍手と歓声に包まれていた。(道永竜命)